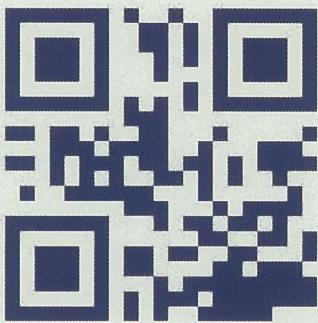


ろう難聴者のICT研究 アンケート 実施中

dhir.jp



ぜひご回答下さい



対象者：

未就学の聴覚障害児の養育者
大学生・大学院生
聴覚障害を持つ就労者

国立障害者リハビリテーションセンター研究所と筑波技術大学、静岡県立総合病院、宮城教育大学では、ろう・難聴者のICT活用の現状について把握し、ICTをうまく使えるようにするための情報を作って提供することを目的とし、ICT利用の現状とニーズを把握するためのアンケート調査をはじめました。
ICTとは、メールやチャット、オンライン会議システムなどの機械を通してコミュニケーションを行う技術のことです。

この調査は、国立障害者リハビリテーションセンター研究倫理審査委員会にて、その科学性・倫理性に関して審議され、承認を受け、国立障害者リハビリテーションセンター総長の許可を受けて実施するものです。

(資金源)

国立研究開発法人日本医療研究開発機構
障害者対策総合研究開発事業
「COVID-19 流行下における聴覚障害者の
ICT 利活用の実態調査及びその成功例を
もとにした情報提供資材の開発」(研究代表者 幕内 充)

〈アンケート全般に関する問い合わせ連絡先〉

国立障害者リハビリテーションセンター研究所
脳機能系障害研究部高次脳機能障害研究室

担当者 高嶋、鈴木、幕内

〒359-8555 埼玉県所沢市並木4丁目1番地

電話 04-2995-3100 (内線2518)

FAX 04-2995-3132

メール dict-pat@rehab.go.jp